

「いわき市自転車活用推進計画（素案）」に対する市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

人	No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
1	1	<p>交通インフラの整備について（目標 I・II・III） いわき七浜海道にはブルーの矢形線 が引かれ、自転車走行部分が明示されたように 思いますが段差や凹凸、傾斜など、未修繕箇所もあり、実際に自転車で走行され体感 していただくのが良いか。と思います。ご承知の通り、ロードバイクのタイヤは一般 に23mmの太さしかなく、グレーチング、継ぎ目などで転倒する危険性があります。全 てを一気にではなく改善できるところからの取り組みをお願いしたいと思います。</p>	<p>いわき七浜海道は防潮堤や既存の道路を活用し自転車走行空間を形成するものであり、防潮堤の打継目地や既存道路の凹凸などの段差が生じている部分があるため、本計画の目標II施策1⑨「いわき七浜海道の整備促進」の中で、段差解消を含め安全で快適な走行空間の整備を図るとともに、目標I施策1③「整備路線の適正な維持管理」の中で頂いた意見を参考に維持管理に努めて参りたいと考えております。</p>
1	2	<p>交通インフラの整備について（目標 I・II・III） 生活利用（シティサイクルネットワーク）では、一番多く生活利用されている高校生（通学）や中高年者（買い物）などの利便性を考えていただきたいと思ひます。「自転車通行可」の歩道の整備、自転車通行可の歩道から車道へ出る場合の動線、段差の解消なども考えられると良いかと思ひます。未だに自転車通行可の歩道上を自転車が通行する際のルールが理解されておらず、歩行者に対して迷惑になっている様子も見受けられます。自転車の通行部分を青色に塗ってみてはいかがでしょうか。（七浜海道とリンクすると有効活用が図られるかと思ひます）</p>	<p>本計画の目標I施策1「安全で快適な自転車走行空間の整備」及び施策2「自転車利用の促進に向けまちづくりと連携した取り組みの推進」の各取組みの中で、頂いたご意見を参考に安全で快適な自転車走行空間の整備を推進するとともに、日常生活において誰でも自転車を利用しやすい環境の創出を図って参りたいと考えております。また、自転車走行のルールについては、本計画の目標IV施策1㉔「自転車安全教育の推進」及び㉕「交通安全啓発活動の実施」の取組みの中で、交通安全教室などを連携した自転車ルール、マナーに関する安全教育を実施するとともに、関係団体等と連携し自転車の安全な利用について効果的な啓発活動に努めて参りたいと考えております。</p>
1	3	<p>交通インフラの整備について（目標 I・II・III） 現在新川堤防内を利用したサイクリングロードがありますが、震災以降整備が不十分であると同時に、内郷駅が終点です。観光地（カントリーサイクルネットワーク）へのアクセス（白水阿弥陀堂など）を考えた場合「その先」の整備が必要かと思ひます。夏井川河口のサイクリング公園についても再整備をお願いしたいところです。</p>	<p>新川堤防を利用したサイクリングルート（新川・夏井川ルート）については、平成22年度までに白水阿弥陀堂までの整備が完了しており、維持管理については、本計画の目標I施策1③「整備路線の適正な維持管理」の取組みの中で対応して参りたいと考えております。また、「夏井川サイクリング公園」の再整備については、今後、施設の利用状況等を見極めながら検討して参りたいと考えております。</p>
1	4	<p>交通インフラの整備について（目標 I・II・III） 防潮堤を中心としたいわき七浜海道は、勿来～久ノ浜までの海岸線を中心としたルートですが、スポーツサイクリングネットワークを考えた場合、帰路となるループになるサイクリングロード等の設定が必要になるかと思ひます。市道、県道のうち交通量の少ない道路を結び、周回できる推奨ルートの策定はできないのでしょうか。</p>	<p>スポーツサイクルネットワークについては、いわき市自転車道路網整備計画（平成11年3月策定/平成26年12月策定）において示した自転車ネットワーク構想であります。頂いたご意見については、本計画の目標I施策1①「自転車ネットワークの構築と道路事情に応じた自転車走行空間の整備」において道路管理者等と連携し自転車ネットワークを構築する際の参考とさせていただきます。</p>
1	5	<p>サイクルステーション等の整備促進について（目標 I・III） いわき市は その成り立ち上、各地に「公民館」があります。また、各「支所」もあります。職員の皆様には負担になるかもしれませんが、それらをサイクルステーションとして利活用されるのはいかがでしょうか。これだけで約50地点の整備が可能になると思ひます。</p>	<p>サイクルステーションについては、現在、アクアマリンパークと常磐湯本駅前において設置運営され、いわき新舞子ハイツにおいても設置工事を進めているところがあります。今後は、3か所の利用状況を踏まえ、市内におけるレンタサイクル等の機能を有したサイクルステーションの整備を検討する際に頂いた意見を参考とさせていただきます。</p>
1	6	<p>サイクルステーション等の整備促進について（目標 I・III） サイクルステーションの機能をどのようにお考えでしょうか。休憩、給水、トイレの施設であったり、場合によっては食事提供機能や自転車整備機能を持ったものも見受けられます。前者は公共的な設備が多く、後者は民間や官民協働の施設であったりします。</p>	<p>サイクルステーションの機能については、頂いた意見のとおり、休憩スペース・トイレの提供、飲食の提供、工具・空気入れ貸出しのほか、レンタサイクルや情報案内などの機能が考えられ、それらの機能については本計画の目標I施策2④「サイクルステーションの整備促進」の取組みの中で検討して参りたいと考えております。</p>

「いわき市自転車活用推進計画（素案）」に対する市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

人	No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
	7	共創による取り組み（目標 III） 商業施設、観光施設などに「サイクルラック」を整備する。場合によっては空気入れ、簡単な工具（管理できる場合）、エイドキットを用意する。	本計画の目標III施策2⑱「共創による取り組みの推進」の取り組みの中で、頂いた意見を参考に、地域事業者や民間施設等と連携しサイクルスタンドの設置や立寄りスポットの創出など受入環境の充実について検討して参りたいと考えております。
	8	共創による取り組み（目標 III） 宿泊施設、観光施設においては何かしらの特典を用意していただき、自転車による交流人口増加（誘客）につとめる。	本計画の目標III施策2⑱「共創による取り組みの推進」のほか、目標III施策3⑳「サイクリング周遊ツアーの造成」の取り組みにおいて頂いた意見を参考とさせていただきます。
	9	共創による取り組み（目標 III） 観光拠点を中心にモデルコースを策定し、観光誘客（インバウンドを含め）を行う。	本計画の目標III施策3⑳「サイクリング周遊ツアーの造成」の取り組みにおいて、地域の魅力を体験できる自転車周遊ツアーやサイクリングイベント造成等を検討する際に、頂いた意見を参考とさせていただきます。
	10	共創による取り組み（目標 III） サイクリングガイド（JCGA）やサイクリング指導者（JCA）の利活用を図り、サイクリングツアーの発信や企画、実施を行う。	本計画の目標III施策3⑳「サイクリング周遊ツアーの造成」の取り組みにおいて、地域の魅力を体験できる自転車周遊ツアーやサイクリングイベント造成等を検討する際に、頂いた意見を参考とさせていただきます。
	11	地域（市民）における自転車利用推進と安全活用（目標 II・IV） 現在民間有志で開催している「ツールドいわき」や体育協会の「サイクルフェスティバル」を中心に見直しを行い、いわき市が中心となったサイクルイベントを開催する。	本計画の目標II施策1⑩「市民サークル、総合型地域スポーツクラブの育成支援」及び⑪「サイクルスポーツ教室・イベントの充実」の取り組みにおいて、イベントを開催する民間団体の育成支援に努めるとともに、民間団体と連携したイベントやプログラムの充実に取り組んで参ります。
	12	地域（市民）における自転車利用推進と安全活用（目標 II・IV） 県（市）民共済や民間保険事業者との連携を図り、自転車乗車時の保険加入を推進する。	意見を踏まえ、本計画の目標IV施策2⑳「市民交通災害共済の加入促進」を「自転車保険への加入促進」と修正し、取り組み内容についても「交通事故により救済するための相互扶助制度である福島県市民交通災害共済について、地域、学校、職場等の協力を得ながら周知を図り、加入率の向上に努める」を「自転車事故の被害者の救済及び加害者の経済的負担の軽減のため、福島県市民交通災害共済や自転車損害賠償責任保険等への加入について、地域、学校、職場等の協力を得ながら周知を図り、加入率の向上に努める」と修正します。
	13	地域（市民）における自転車利用推進と安全活用（目標 II・IV） 小中学校・高校へ自転車安全利用に向けた講師の派遣と講習会の開催。	現在、本市では、交通指導員が学校や集会所等に訪問し、交通教材を用いた実技や講話による交通安全教室を実施しております。今後においても、本計画の目標IV施策1㉑「自転車安全教育の推進」及び⑳「交通安全啓発活動の実施」の取組み中で、交通安全教室などを通じた自転車ルール、マナーに関する安全教育を実施するとともに、関係団体等と連携し自転車の安全な利用について効果的な啓発活動に努めて参りたいと考えております。

「いわき市自転車活用推進計画（素案）」に対する市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

人	No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
	14	地域（市民）における自転車利用推進と安全活用（目標 II・IV） 地域企業への近距離通勤者への自転車通勤奨励、大人のための自転車安全利用に向けた講師の派遣と講習会の開催。	地域企業への自転車通勤奨励については、本計画の目標II⑩のとおり、「自転車通勤の推奨」を取組みとして挙げており、市内の事業所等に対し健康増進や通勤コストの削減等の事業所が受ける恩恵の理解を促し、自転車通勤の推奨を図って参りたいと考えております。 大人のための自転車安全利用に向けた講師の派遣と講習会の開催については、本計画の目標IV⑤「自転車安全教育の推進」を取組みとして挙げており、ライフステージに応じた自転車利用の安全教育の推進を図って参りたいと考えております。
	15	地域（市民）における自転車利用推進と安全活用（目標 II・IV） 公民館事業、各種体育施設での自転車教室（啓蒙）の実施	本計画の目標IV施策1⑤「自転車安全教育の推進」の取組みの中で、自転車ルール、マナーに関する自転車安全教室等を実施する際の参考とさせていただきたい。
2	16	「いわき七浜」久之浜・四倉・薄磯・小名浜港湾・小浜・岩間・勿来各海岸がどういった観光資源かを知らせる。	いわき七浜海道に設置する案内板やサイクリングマップ、ナビゲーションアプリ等の案内・広報媒体等いわき七浜を含む本市の観光資源を記載するなど、観光振興に係る情報発信を検討して参りたいと考えております。
	17	「いわき観光まちづくりビューロー」の協力のもと「新舞子」「アクアマリン」のみならず、「四倉道の駅」「浜風きらら」「交流スペース勿来（なっくる）」も拠点化を図る。	「道の駅よつくら港」については、いわき七浜海道の休憩所として位置づけており総合案内板やサイクルラックを設置するなど、受入環境の整備を行う考えであり、「浜風きらら」「交流スペース勿来（なっくる）」については、いわき七浜海道や市内3か所に整備されているサイクルステーションの利用状況を踏まえ、官民協働による受入環境の整備を検討する際の参考とさせていただきたいと考えております（目標III施策2⑩共創による取組みの推進）。
	18	道幅・信号機の有無の見直しや街中交差点の工夫(スクランブル化)及び電柱等の整備(無電柱化を視野に入れて)を図るとともに、「防犯」「防災」両面を視野に入れ街灯配置を適正化し、ガス灯からLEDへの移行を図るなど、「利用しやすさ」「暮らしやすさ」「管理しやすさ」を併せ持つ「安心」「安全」「安定」の下、「防犯」「防災」インフラと併せて自転車を利活用したくなるような交通環境の大幅な整備を行う。	頂いた意見を参考に、本計画の目標I施策1「安全で快適な自転車走行空間の整備」、施策2「自転車利用の促進に向けまちづくりと連携した取組みの推進」の各取組みの中で、安全で快適な自転車走行空間の整備を推進するとともに、日常において誰もが自転車を利用しやすい環境の創出に努めて参りたいと考えております。
	19	各地区のNPO法人まちづくり団体の協力を得る。	現在、サイクルステーションの管理・運営において、地域の事業者・団体などの協力を得ているところであり、今後につきましても自転車環境の整備や利用の促進に向けて、各地区のNPO法人をはじめ、まちづくり団体などとの連携を図って参りたいと考えております。

「いわき市自転車活用推進計画（素案）」に対する市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

人	No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
	20	地域間のアクセスの円滑化を図る。	いわき市自転車道路網整備計画（平成11年3月策定/平成26年12月改定）において、自転車道路網構想（自転車ネットワーク構想）を示しており、ネットワークの連続性及び自転車交通需要への対応等を踏まえ自転車道路網の整備方針を定めております。 頂いた意見につきましては、自転車ネットワークの構築や公共交通と連携した取り組みを検討する際の参考とさせていただきたいと考えております（目標Ⅰ施策1①自転車ネットワークの構築と道路事情に応じた自転車走行空間の整備、目標Ⅰ施策2⑦公共交通機関との連携）。
	21	防災インフラと交通インフラの接続について	防災インフラとの接続については、災害時における自転車の活用に関する課題や有用性を調査研究する際の参考とさせていただきたいと考えております。 また交通インフラとの接続については、本計画の目標Ⅰ施策2「自転車利用の促進に向けまちづくりと連携した取り組みの推進」において、公共交通等と連携した取り組みの検討を行って参りたいと考えております。
	22	学校等、教育機関での「交通安全・防災」教育を「いわきバッテリーバレー」「いわきアカデミア推進協議会」の連携協力下で、充実支援を図る。	本計画の目標Ⅳ施策1「自転車安全教育の推進」において、ライフステージに応じた自転車利用の安全教育を推進することとしており、安全教育を行う際の参考とさせていただきます。
	23	街中での自転車や自動車の利用のみならず、徒歩や公共交通機関の利用など、多様な移動手段の充実を図る。	本計画の目標Ⅰ施策2「自転車利用の促進に向けまちづくりと連携した取り組みの推進」において、公共交通等と連携した取り組みの検討を行って参りたいと考えております。
3	24	湯ノ岳（ユノヒル）または水石山（ミズヒル）ヒルクライム（山岳自転車レースの開催） マラソン大会と共に自転車大会も増えてきておりますので定番の内容ですが。	本計画の目標Ⅱ施策1⑫「サイクルスポーツ教室・イベントの充実」及び目標Ⅲ施策3⑫「サイクリング周遊ツアーの造成」の取組みにおいて、頂いたご意見を参考とさせていただきます。
	25	競輪場でスクールの開催（例えば週2回等） 希望としましては学生（小学～高校等）に対してバンク等を使ってプロ又は競輪OB等の人たちの指導を受けて将来的にオリンピック選手（もちろん競輪だけでなくロードレース BMX トライアスロン等活躍できる選手）の育成。地元にはバンクがあるわけですから。可能な限り利用できるなら。）	本計画の目標Ⅱ施策1⑫「サイクルスポーツ教室・イベントの充実」の取組みにおいて、頂いたご意見を参考とさせていただきます。
	26	湯ノ岳から浜街道に自転車ロードの整備（新川～浜街道につながる）	本計画の目標Ⅰ施策1④「自転車ネットワークの構築と道路事情に応じた自転車走行空間の整備」において、自転車ネットワークを構築と自転車走行空間の整備を検討する際の参考とさせていただきます。

「いわき市自転車活用推進計画（素案）」に対する市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

人	No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
4	27	<p>○自転車が何故利用されないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が整備されていない ・車道を走るのが怖い。安心して乗れない。（一般的な意見） ・町の構造上、起伏があり利用しにくい。（電動自転であれば可だが） ・車に頼り過ぎ（近所のスーパーにも車で．．．が習慣化している） 	<p>自転車走行空間の整備形態としては、自転車と自動車を構造的に分離する「自転車道」、自転車と自動車を車道内で視覚的に分離し専用通行帯を設ける「自転車専用通行帯」、車道内で視覚的に自転車走行空間を示す「車道混在」の形態があります。</p> <p>本計画の目標Ⅰ施策1①「自転車ネットワークの構築と道路事情に応じた自転車走行空間の整備」において、道路管理者と連携して自転車ネットワークの構築を図るとともに、上記整備形態を踏まえ道路事情に応じた自転車走行空間の整備について検討し、自転車を利用しやすい環境の創出に努めて参ります。</p>
	28	<p>○組織</p> <p>計画では令和6年度までの長期間の事業で大きなプロジェクトであり、実行性を問われるものと考えます。それには組織のあり方に課題が重要かと。現在は係長、係員2名体制の様様。果たしてこの大プロジェクトが2名で実際に可能なのでしょうか。疑問です。</p> <p>国がやるから県がやるから一応参加では止めた方がいいのではないのでしょうか。本当にやるなら単なる土木課所属ではなく独立した専門組織にすべきだと思います。机上プランの作成だけなら止めた方がいいと思います。</p>	<p>本計画の策定やいわき七浜海道の整備にあたっては、国県市の行政機関、サイクリング団体、まちづくり団体、交通事業者等で組織する会議において、検討調整を行い進めて参りました。本計画には自転車に関する様々な取組みを定めており、各取組みの実施主体が役割を認識し事業を進め、適宜、当会議において進捗状況の確認や検証等のフォローアップを行いながら自転車活用の推進に向け取り組んで参りたいと考えております。</p>
	29	<p>政策的を絞って。いわき全域となっている対象地は無理。</p>	<p>本計画は自転車活用推進法に基づく市の自転車に関する総合計画として策定するため、計画区域は市全域としております。</p> <p>本計画に定める施策の展開にあたっては、重点的に取り組む施策を見極め実施して参りたいと考えております。</p>
	30	<p>○シティサイクル</p> <p>街中でちょっとした買物等生活道路としての利用可能な区域である平、小名浜、植田、勿来地区の整備が優先すべきかと。</p> <p>※自転車利用はまず平坦地でこそ活用され、山間地域の奥会津三町（柳津、三島、金山）は起伏が多く、利用が難しい。反面都市部（郡山、会津若松、福島、全国区）においては格段と利用率が高い（P8）。その中でもいわき市は低い。これは起伏が多い地域が多いことの証である。</p>	<p>いわき市自転車道道路網整備計画（平成11年3月策定/平成26年12月改定）において、自転車道路網構想（自転車ネットワーク構想）の1つとしてシティサイクルネットワークを示しております。頂いたご意見については、本計画の目標Ⅰ施策1①「自転車ネットワークの構築と道路事情に応じた自転車走行空間の整備」において道路管理者等と連携し自転車ネットワークを構築する際の参考とさせていただきます。</p>
	31	<p>○カントリーサイクル</p> <p>整備の優先順位。</p> <p>海岸線ルートを基盤に順次継いでいくべきと考える。途中一部分が整備されても繋がりがなければ利用は低くなると思われる。繋がりは不可欠。</p>	<p>いわき市自転車道道路網整備計画（平成11年3月策定/平成26年12月改定）において、自転車道路網構想（自転車ネットワーク構想）の1つとしてカントリーサイクルネットワークを示しております。頂いたご意見については、本計画の目標Ⅰ施策1①「自転車ネットワークの構築と道路事情に応じた自転車走行空間の整備」において道路管理者等と連携し自転車ネットワークを構築する際の参考とさせていただきます。</p>
	32	<p>○受入環境の整備</p> <p>新舞子ハイツ、民間宿泊施設等サイクリスト受入れ対応が順次進んでいる様子は評価できます。</p> <p>※サイクリストは高級自転車所有者が多く保管場所は重要ポイント</p>	<p>本計画の目標Ⅲ施策2⑦「いわき新舞子ハイツの拠点化」、⑧「共創による取組みの推進」を進め、受入環境の充実を図って参ります。</p>

「いわき市自転車活用推進計画（案案）」に対する市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

人	No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
	33	<p>○湯本の街が一体となる（スバリゾートも含め） 街のホテル、旅館等全てに自転車置場の設置、部屋持込み可等。</p>	<p>湯本駅前サイクルステーションの開設を契機に、地域事業者や民間施設と連携したサイクルスタンドの設置や宿泊施設の充実など共創による取組みの推進を図って参りたいと考えております。</p>
	34	<p>○いわき七浜海道ルートに目玉を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小名浜東港への自転車乗り入れ 問題点はあるかと思うが新ルートの一環として努力願いたい。 ・こども図書館（豊間・合磯）の開放 民間所有であるが日本有数の建築設計家安藤氏の設計による建築物であり勿体ない。 ・いわき七浜海道から見る絶景写真 公募による写真及び写真展の開催 	<p>本計画の目標Ⅲ施策1⑮「ビュースポットの案内」や施策2⑰「共創による取組みの推進」において、いわき七浜海道ルート上の景観の優れたポイント案内や立寄りスポットの創出を検討する際の参考とさせていただきます。</p>